

古保利小学校からの報告

活動団体名： 古保利小学校 4年生

活動人数： 16人（教員2名）

取組時間：総合的な学習の時間
／古保利の自然を調べよう

調査内容 1回目：6月19日（月） 余呉川（熊野）

事前に下敷きやインターネットを使い、身近にいる水生生物について簡単に学習をしました。その後、調べた生き物を班で発表し合い、どのあたりに行くを見つけやすいか話し合ったり、自分が見つけたい生き物を決めました。また、研修動画を一部抜粋しながら、子ども達と調査方法の確認や川に入る時の注意事項などを学習してから調査に向かいました。

講師の先生の指導の下、網やバケツなどの道具を使い、水生生物を捕まえました。他にも、水流の速さを測ったり、水質のチェックを行い、川の様子を詳しく調べてたりしました。子ども達は講師の先生の話聞き、一人でできないことは班で助け合いながら取り組むことができました。水生生物探しでは、事前学習で調べていた生き物を実際に見つけて、喜んだり、実物の大きさに驚いたりしていました。捕まえた生き物について、講師の先生がそれぞれの特徴を



説明してくださり、みんなで観察した後、川に戻しました。

調査員の感想

- 川には、水温がちがったり、深さがちがったりするところがあることにびっくりした。
- 写真で見るよりも、実際につかまえることができて楽しかった。
- 水草の生えているところなどを足でつくと、生き物がとれやすいことがわかった。

捕まえた生き物たち

ガガンボの幼虫、アメリカザリガニ、カワニナ、赤いユスリカ、ウマビル、ヌマエビ、ヤゴ

調査のまとめ

- 川のきれいさは、雨や周りの田んぼなどで影響を受けることがわかった。
- 川の水は濁って汚れているように見えるが、きれいな川に棲む生き物もいて、小さな体でも生存のためにがんばっていることがわかり、生命の力強さを感じた。
- 川場所によっては、水温が異なっていた。その理由は、川以外の場所からながれてくる水が関係していることがわかった。
- 一つの川にもたくさんの生き物がいることがわかった。



活動の様子

【道具の使い方について説明を聞いている子ども達】



【川の速さ調べのようす】



【水温調査のようす】



【水質調査のようす】



【生き物がいそうな場所を探しているようす】



【生き物を捕まえられた子ども達】



【つかまえた生き物が何かを調べている子どもたち】



【調査の結果をまとめているようす】

